

2005 Vol.2

仙台消防階子乗り広報紙

纏





会長に訓練開始を告げる梅津泉消防団長

消防出初式

平成17年1月6日(木)恒例の仙台市消防出初式が市役所前市民広場で行われ、7消防団の階子乗り、総勢175名が出場しました。

泉消防団の組頭を先頭に、すり足で歩く階子乗り独特の行進の様子と躍動感あふれる纏持の姿を沿道に詰めかけた市民の皆様にお見せすることができました。

また、市民広場では、号令とともに7本のはしごが一斉に立ち、統一演技の「一本遠見」を皮切りに、この日に向けて訓練を重ねた演技を、大勢の市民の皆様披露し、酉年の活動の幕開けとなりました。



写真は全て平成17年仙台市消防出初式から



仙台消防階子乗りの変遷

明治以「の」統に輝き、消防出初式の恒例行事として行われ、仙台の正月の名物となっていた階子乗りの演技を、一目見ようと馳せ「ずる市民が大勢いました。」
「エイヤツ」の勇ましいかけ「とともに演じる二人技の鶴」、はしごの頂上で体を水平に保つ腹「、遠方を眺める遠見等の技は、とび口、はしごからなる消防から必然的に生まれたもので、演ずる者の血を湧かせ、見る人」の興奮を誘う庶民の風物詩でもありました。

～ 階子乗りの伝統を守り
心意気を後世に伝える～

階子乗りを支える



仙台消防階子乗り保存会

会 長 藤崎 三郎助 氏



仙 台消防階子乗り保存会は、昭和49年に後継者不足のため中断した消防階子乗りの復活と、文化的遺産の継承を目的として、仙台商工会議所や仙台市防災安全協会などの呼びかけで、平成2年9月に24団体

の賛同を得て設立されました。発足当初、青葉・宮城野・太白の3消防団でスタートした階子乗りも、平成4年の七夕まつりで7消防団の階子乗りが全て出揃い、現在の体制になりました。

藤崎会長には、初代会長として、発足当時の組織づくりをはじめ、会員の入会促進には特にご尽力をいただき、当会の基盤づくりに多大な貢献をいただいております。

おかげさまで、年々会員数も増え、現在では74会員になりました。

来年度の活動を思う時、初夏の杜の都を彩る青葉まつりで、東二番丁通いっばいに7本のはしごが一斉に立つ見事な様は、こうした支えがあってはじめて市民の皆様披露できるのだと思わずにはられません。



上：平成17年仙台市消防出初式で、演技を観覧する藤崎会長
下：三本締めを唱和する藤崎会長
(右隣は佐々木 芳一 参与)

青 葉消防団の階子乗り隊は、組頭以下30名で構成されています。

サラリーマン団員が多く、全員揃うことが難しい時もありますが、一致団結してお互いをカバーしながら活動しています。

さて、当団の小島団長は、階子乗りの先輩でもあり、経験が豊かなため、訓練の時には、組頭や小頭より大きな声で容赦のない檄が飛んできます。

また、出場の際には、演技の説



明をしてもらっていますが、技に関する造詣が深く、隊員にとっても参考になることが多く、団長の説明は聞き逃せません。

上 :2004防災 防火フェスティバル
下 :仙台七夕まつり



纏

隊

各消防団の階子乗り隊を
紹介します。(シリーズ)



提 灯

今回は、青葉消防団階子乗り隊を紹介します。

今 年度、青葉消防団で、はしごを更新しましたので、その時の様子を紹介します。

厳選の竹

12月12日(日) この日は朝から快晴で暖かい日でした。

保存会の佐々木参与と太白消防団の階子乗りと一緒に、“最高の竹”を求めて、一路南に向かいました。

「竹は、はしごの命。竹にこだわらずしてはしごを語るな。」と言われますが、竹のしなり、強度、バランス、重量感、手触り等、はしごに命を預ける乗り手のことを

思えば、はしごに少しでも不安があってはいけません。

そこで、佐々木参与の紹介で、以前にもお世話になった伊具郡丸森町にある竹材商の八巻さんの所で、新しい竹を調達することになりました。

さて、お目当ての竹は?と思いながら車は南へ進み、着いたところは、なんと福島県の梁川町。

途中にも竹林があり

ましたが、はしごに使うのは唐竹で、しかも、まっすぐで節の揃った良品はここにしかないということでした。

しかし、条件に合う竹は少なく、選別は大変でした。

良いと思うものでも、ぴかぴかの若い竹は強度が不足してい



るそうで、表面が黒ずんだ5年位
いの物が良いのだそうです。

ようやく竹4本（使うのは2本
で残りは予備）を調達し、トラッ
クに載せると、竹の切り口から液
が滴り落ちていました。「その汁甘
いから舐めてみな」の八巻さんの
一言に、皆で舐めてみました。

はしごの組み立て

12月24日（金）はしごを組
み立ての初日です。団員の中には
大工さんがいますので、段取りよ
く乗り手の体格に合わせた寸法に
造り上げていきます。



段木は、直接荷重がかり、手が
触れるところなので、こだわりの
材料として青森産のヒバ材を使用
しています。

青森ヒバは、寒いところでゆっ
くり成長するので、年輪が詰まり、
大変強度に優れ、水にも強く、サ
サクレが立ちにくいので、素材と
しては最高とされています。



年が明けて1月3日（木）組み
立ても最終段階に入り、縄締めで
す。



年末から、200mの麻ロープ
に重しを乗せ、ロープのヨリを取
っています。

ロープを竹と段木に巻き付けな
がら、トントンと叩きつけて締め
上げます。



作業開始から2時間ほどで、新
しいはしごが完成しました。



さて、最後は安全祈願です。

東照宮の宮司さんに来てもら
い、厳かな雰囲気の中、団長、組
頭が玉串を捧げました。



また、はしごには御札がつけ
られ、御祈禱が滞りなく終わら
りました。



こうした工程を経て完成した
はしごに乗り手が登ると、新し
いはしごが「ギシッ、ギシッ」
と産声をあげ、消防出初式で初
披露となりました。



編集後記

仙台の階子乗りは、技
術が高く、各行事で演技する様子を
全国各地の階子乗りが見に来たり、
演技の写真が雑誌等の表紙を飾つた
りしています。こうしたことを励み
とし、階子乗りの皆さんが、一層研
鑽されますよう期待します。

また、すでにお気づきの方もいら
っしゃると思いますが、階子乗りで
使う用語を一部整理し、「はしご（梯
子）」は「はしご」、「はしご乗り」は
「階子乗り」等とし、今号から使用
しております。



平成 17 年仙台市消防出初式

仙台消防階子乗り保存会会員（順不同・敬称略 平成 17 年 3 月 1 日現在）

㈱藤崎	(社) 仙台市防災安全協会	㈱三越仙台店	泉消防団親和会	東北スチール㈱
㈱1.4.1	協同組合仙台日観連	仙台市消防機器事業協同組合	宮城消防団親和会	㈱大内屋
仙台ターミナルビル㈱	(社) 宮城県銀行協会	新日本石油精製㈱	秋保消防団親和会	安海 映一
NECトーキン㈱	㈱ビル-ル㈱仙台工場	協同組合仙台卸商センター	消防太白会	馬場 勝男
㈱河北新報社	㈱ユアテック	泉区建設災害防止協会	サンモール一番町商店街振興組合	伊藤 昭一
ニッカウキスキー㈱仙台工場	みやぎ仙台商工会	㈱西友ザ・モール仙台長町店	㈱ベルモードスズキ	小山 嶺
仙台商工会議所	泉消防友の会	みやぎ生活協同組合	㈱ナカガワ	石井 一志
(社)日本損害保険協会東北支部	福廣㈱	㈱江陽グランド ㈱	イオン㈱仙台フォーラス	柴田 林
宮城県百貨店協会	消火栓標識㈱仙台支社	原町消和会	よろづ園茶舗	菊田 寛
仙台ビルディング協会	㈱鐘崎	㈱丸重大友工務店	牛なべ人間合名会社	北川 信一
仙台農業協同組合	大慶商事㈱ｺｰﾙﾄﾞﾗｯｼｭ卸町店	宮城消防団OB会	おおまち商店街振興組合	郷湖 忠
東北電力㈱	東北福山通運㈱仙台支店	青葉消防団親和会	ホテルモントレ㈱	高橋 幸助
㈱七十七銀行	第一貨物㈱仙台東支店	宮城野消防団親和会	㈱光彩塗料商会	三浦 文江
カメイ㈱	バイパスパチンコ	若林消防団親和会	東北厚生年金病院	
仙台防火委員会	北日本電線㈱	太白消防団親和会	東洋製缶㈱仙台工場	